

高められた血と肉よ BWV173

1. テノール 朗唱

高められた血と肉よ

地上において、神が引き受け、天の救いをなし、いと高きものと定められた血と肉よ。

2. テノール アリア

清められた心は神の慈しみを見て、感謝し受け止める。

たたえ、歌え

琴の音に合わせよ。

たたえ、歌え、声を合わせ 神のまことをのべ伝えよ。

3. アルト アリア

人の子らよ大いなることを

神はなされた。

口と心、耳と目は この善き時を喜び翹う。

きよき喜びに翹う。

4. ソプラノ バス 二重唱

このように神は世を愛されて

その慈愛は貧しきわれらを救い

み子をわれらに送られた。

恵のたまもの豊かに流れ出ずる。

われらが受ける愛の贈り物を受ける。

ソプラノ

あなたの愛の絆は、人の心と口のなかに働きかける。

こうして聖霊は神を祝し、ほめたたえ

信仰により神の名を呼べと教えたもう。

ソプラノ・バス

今やわれらは犠牲をささげて、賛美し、感謝し

あらわれた光 輝き その子ら向き

輝き照らし、彼らを力強く示す。

5. 朗唱 ソプラノ・バス

人が父とよぶ全能の方よ

われらを犠牲をささげん。

信仰に燃える胸から

吐く息は天に向かって燃えあがる。

6. 合唱

主よわれらの霊を動かし

いと高き霊のたまものわれらの内に働いて

それがわれらを動かす。

み子が祈れと命じられるので、

われらの祈り雲を破り、聞き届けられん。

われらの願い聞き届けられん。

初演 1724年5月29日 聖霊降臨祭第2礼拝

ヨハネ3:16-21 神は一人子をつかわした

使徒 10:42-48 異邦人らに聖霊が降る

原作は(1717-1723)仕えていたケーテン侯レーオポルトの誕生日祝い

であり、トマス教会で年間59曲のカンタータを作るにあたり、改作されたと推定される。